

国語科 小学校 4年

単元名 取材したことをもとに学級新聞を作ろう
「みんなで新聞を作ろう」

本時の流れ（第5時）

前時までの振り返りと本時のめあての確認

文章を推敲する際の観点を考える。

- ・記事例について、分かりやすいところと分かりにくいところを話し合う。
- ・よりよい表現にするためには、どのようなことに気を付けて書き直したらよいか考える。

「活用」の力育成のために

気付いたことなどをペア学習で話し合せて、児童が自分で推敲の観点を記事例から見つけられるようにする。

考えた観点をもとにして、例文を推敲してみる。

- ・2つ目の記事例を読み、書き直す内容や付け加えることなどについてグループで話し合う。
- ・グループで例文記事を推敲する。

「活用」の力育成のために

推敲前・推敲後の文章を比較して、読み手に分かりやすい表現方法を考えられるようにする。

推敲した結果を交流し、推敲する際に大切にすることや工夫することを考える。

- ・グループごとに推敲した記事例について、次のことなどを発表する。
 - 修正した内容や言葉
 - 書き直したとき工夫したこと
 - 推敲してみて感じたこと

学習のまとめ・振り返り

- ・今日の学習を振り返り、自分の記事を推敲するときがんばりたいことを書く。

本時の目標

よりよい表現に書き直すための方法を考える。

【本時のめあて】

自分の記事をよりよい表現にするための方法を考えよう。

5W1Hが書けているか、伝えたいことの中心がはっきりしているか、様子がくわしく書けているかなどに目を付けるようにする。

書き手の気持ちや考えたことが表現されているかにも、目を向けられるようにする。

漢字や表記の誤りをなくすため、辞書を手元に置いて推敲させる。赤鉛筆で修正や書き加えを行うことなど、具体的なことをあらかじめ指導しておく。

「活用」の力を育てる評価の視点

- ・例文記事について、推敲前、推敲後の文章を読み比べ、効果的な表現方法について話したり書いたりしている。
- ・交流の中で、比喻表現など文章表現の多様さや良さについて、話したりノートに書いたりしている。

* 評価に際しては、推敲の状況、グループ内での交流の様子、感想の記述等を通して、児童の学習状況を適切に把握して、その都度、きめ細かな指導をする。